

平成18年度 第4回芦屋市地域包括支援センター運営協議会会議録

日 時	平成19年 3月 16日(金) 13:30~15:30
会 場	市役所北館2階 第3会議室
出席者	<p>会 長 長田 貴          副会長 間瀬 勘史          委 員 羽田 稔郎・川島 知榮子・萩原 恵利子・小林 正美          高橋 順子・瀬々倉 利一・加納 多恵子・安宅 桂子</p> <p>高齢者生活支援センター          西山手高齢者生活支援センター          精道高齢者生活支援センター          潮見高齢者生活支援センター</p> <p>事務局 保健福祉部高年福祉課</p>
会議の公表	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公 開                      <input type="checkbox"/> 非公開                      <input type="checkbox"/> 部分公開</p> <p>&lt;非公開・部分公開とした場合の理由&gt;</p>
傍聴者数	0 人

1 議題

- (1) 地域包括支援センター業務の課題について
- (2) 地域包括支援センター事務調査結果について
- (3) 介護予防支援の委託について
- (4) 平成19年度の芦屋市地域ケアネットワーク図について

2 審議内容

上記の議題について事務局より報告，説明し，委員に意見聴取する。

開 会

議題

- (1) 地域包括支援センター業務の課題について

委 員) 潮見の報告にあった「コミュニティフレンド事業」について具体的に教えてください。

包 括) 世代間交流ができないかと浜風小学校校長先生へ提案したところ、「是非やりましょう」と返事をもらい，PTA 等と協議を重ねていただきました。具体的には子供たちと高齢者の交流の場として月2回，小学校1年の児童と高齢者，各20名程を募りプログラムを一緒に行い，交流を深めていく予定です。大学に協力いただき実施前後にアンケートで意識がどう変わったか調査も行いたいと考えています。やがて地域で育つ子供たちにとって，意義深いものだと考えていますので，全市に広がればと思います。

会 長) 全体として、地域から包括を見たときの意見、印象があれば聞かせていただきたい。

委 員) まだまだ知られていないと思います。どんな時に相談したらいいのかわからないのではないかと思います。

委 員) それぞれの地域で特色があり課題をもっていますが、1年前を振り返ると進んできたのだと思います。だから課題もそれだけ出てきたのでしょう。これから長い時間がかかるものなので、組織も簡素化してわかりやすくことも必要だと思います。

委 員) ケアマネとして地域のミニ地域ケア会議に参加して、地域の中で何が出来るかを考えるようになりました。他の地域でも、その地域の事業所から参加されているのでしょうか。参加したらわかることも多いです。ケアマネがわかっていないと伝えられないと思います。

会 長) すぐに結果がでることではないので、つながりをどう持つかあせらずに考えてやっていくべきだと思います。包括支援センターとしては、PRの継続性は必要です。次の課題としては役割をどう伝えるか、モニタリングをして振り返り確認して進むといったことがしっかりと意識されているか、また地域はどう包括支援センターを見ているか、客観的立場から運営協議会でフィードバックできたらと思います。

#### (2) 地域包括支援センター事務調査結果について

委 員) 公平中立の立場にあるかを結果で判断するのは難しいと思いますが。

会 長) 包括支援センターがどう考えて、どう業務をしているか難しいところですが大事なところです。介護保険では選択権という考え方があるのに介護予防支援にはない。しかしサービスには選択権はあるので、制度的にも判断が難しいです。客観的材料を集めて議論する必要はあると思います。

#### (3) 介護予防支援業務の委託について

委託する居宅介護支援事業所要件を事務局より提示し承認される。

#### (4) 平成19年度の芦屋市地域ケアネットワーク図について

案を提案、今後三者（地域ケアシステム会議座長、地域包括運営協議会長、高齢者権利擁護委員会会長）会議で最終協議を行い、6月に18年度の地域ケアシステム協議会メンバーに承認をいただく予定であることを説明し了承を得る。

閉会